

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	保険年金課長	森 啓匡
健福-51 国民健康保険事業(特別会計)	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	保険年金課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
			市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	鎌倉市国民健康保険被保険者
意図	被保険者の医療保障・健康事業活動を行い、市民の健康の保持増進を図る。
効果	市民の医療保険の向上及び福祉の増進を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

国民健康保険に加入している方が、万一病気やけがをした場合、医療機関に保険証を提示して一部負担金を支払い、診療を受けることができる。この国民健康保険事業の企画運営、保険給付、診療報酬、国民健康保険料の賦課・徴収を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数	46,599人	44,764人	事業の対象者数	44,179人	
決算値(千円)	18,379,015	21,157,514	当初予算(千円)	22,487,115	市民健康課からの 兼務1.0人分を含む。
国県支出金	4,425,290	4,444,098	国県支出金	4,710,392	
地方債		0	地方債		
その他	8,750,510	11,600,931	その他	11,959,338	
一般財源	5,203,215	5,112,485	一般財源	5,817,385	
人員配置数	17.3	17.3	人員配置数	16.3	
人件費(千円)	131,601	131,862	人件費(千円)	129,116	
総事業費(千円)	18,510,616	21,289,376	総事業費(千円)	22,616,231	
市民1人当りの経費(円)	104,306	120,114	市民1人当りの経費(円)	127,870	
対象者1人当りの経費(円)	397,232	475,591	対象者1人当りの経費(円)	511,923	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 市民生活に大きく寄与している事業であり、保険給付内容を低下させることはできず、国民健康保険の医療費が増加傾向である中、保険料徴収率の向上や医療費の適正化を図り、出来る限り支出の増大を抑え、国民健康保険財政の安定化を図っていくため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成30年度の制度改革を視野に入れつつ、保険料収納率の向上と医療費の適正化を図り、国民健康保険財政の安定化を図ることで、保険制度のより適正な運用を行う。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	医療費の支出が増加傾向である中で、国民健康保険を財政面において安定的に運営すること。		
課題解決のために行った平成27年度の実績	保険料の収納率向上に努めるなど国民健康保険の安定的な財政面での運営に努めるとともに、データヘルス計画を策定することで、医療情報を分析し最適な保健事業を行い、被保険者の健康増進に寄与することで医療費の適正化につなげる方向性を定めた。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	・国民健康保険の安定的な財政面での運営の確保 ・平成30年度の制度改正に対応した、鎌倉市の国民健康保険の運営方法の適正な改正の検討（県が被保険者となり納付金制度や県内事務の統一化など多岐にわたる課題が生じているため）		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	国民健康保険料収納率(平成26年度)(単位:%)								
団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市
他市実績	93.29	92.51	90.16	88.67	90.58	89.54	91.78	93.63	90.38
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---